

まちづくりの柱

7

安全・ 安心のまち



施策

1. 災害に強いまちづくり

2. 強靱な地域づくり

3. 自主防災力の向上

4. 市民の安全・安心の確保




5. 安全で快適な交通社会



重点項目

- 災害に強く、誰もが安全・安心で快適に暮らせるよう、常襲浸水地域の浸水被害の軽減や地域の特性に応じた災害対策を推進します。
- 安全で快適な交通社会の実現に向けて、自転車利用環境等を整備し、歩行者や自転車利用者の安全確保を図るとともに、公共交通の利用環境向上に向けた整備を推進します。

関連指標

指標	基準値(基準年度)	目指す方向
災害に備えている市民の割合	52.1%(R1)	UP 
地域防災訓練(12月)に参加した市民の割合	15.5%(R1)	UP 
公共交通利用者数	45,837人(H30)	UP 

災害に強い まちづくり

現状と課題

- 本市は地理的、自然的特性から、地震、津波、水害など多くの自然災害による被害が想定されています。
- 想定される大規模な自然災害から、市民の生命、財産を守るため、国や県をはじめとする関係機関との連携を図りながら、地域の特性に応じた対策を推進することが求められています。
- 本市は特に南海トラフ巨大地震による津波被害が懸念されており、「沼津市地震・津波対策アクションプラン」による対策を進めてきました。また、近年では、大型の台風や長期間の降雨による被害が全国各地で発生しており、気候変動の影響を踏まえた災害対策が重要です。
- 市民の安全・安心の確保のために、避難行動に結び付くわかりやすい防災情報の発信や観光拠点における来訪者の安全確保、関係機関との円滑な連携など、様々な防災の取組の強化を図ることが必要です。



方向性

動き出す 創り出す

- 観光拠点における来訪者の安全確保や関係機関との連携により、防災の取組の強化を図ります。

誇りと つながり

- 避難行動に結び付くわかりやすい防災情報の発信に努めます。

心も体も 元気で健康

- 各地域の特性に応じた地震・津波対策を推進します。
- 気候変動の影響を踏まえた災害対策を推進します。

関連する
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
<p>1 地震・津波対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地震・津波からの人的被害の最小化を図るため、津波避難ビルの指定や津波避難路の整備をはじめとした迅速避難に向けた環境整備や、家庭における地震対策の促進など、沼津市地震・津波対策アクションプランに基づいた減災対策を推進します。 ▶ 津波からの避難が困難な地域においては、避難場所の確保を推進するとともに、事前避難など必要な防災対応について検討します。 ▶ 関係機関と連携し、自発的な防災活動を促す地区防災計画の作成や防災訓練の実施など、地域の特性に合わせた地震・津波対策を進めます。
<p>2 気候変動の影響を踏まえた災害対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 常襲浸水地域において浸水被害の軽減を図るため、地域の実情に合わせた治水対策を着実に推進します。 ▶ 西部地区の抜本的な治水対策として平成29年度に工事着手した沼川新放水路の早期完成を目指し、建設を促進します。 ▶ 排水機場や雨水貯留池などの適正な管理に努めるとともに、それらの長寿命化を図ります。 ▶ 急傾斜地崩壊危険区域に指定された箇所の崩壊対策工事を実施します。 ▶ 国や県から示された洪水浸水想定区域図や土砂災害(特別)警戒区域図に基づき、新規・更新のハザードマップを作成し、洪水や土砂災害への意識向上を図るため啓発活動に努めます。 ▶ 森林の水源涵養機能等、多面的機能を向上させるために、間伐など適切な森林整備を推進します。
<p>3 わかりやすい防災情報の発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市民への有効な情報伝達手段である同報無線について、早期にデジタル化へ移行します。 ▶ SNSやメール、コミュニティFMなど複数の媒体を利用し、迅速かつ適切な災害関連情報の提供に努めます。
<p>4 様々な防災の取組の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 災害時等の観光拠点における来訪者の安全確保について、地域・事業者等と連携して進めます。 ▶ 様々な災害に対する正しい理解と適切な避難行動を促すため、市民とのワークショップなどを開催します。 ▶ 狩野川や黄瀬川などにおける大規模な河川氾濫を想定し、地域外への避難を含めた検討を行います。 ▶ 大規模災害時は、迅速な被災者の救助や緊急支援物資の調達など、多くの関係機関からの支援が必要になるため、平時の訓練などを通して連携の強化を図ります。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市地震・津波対策アクションプラン
- 沼津市水防計画書

強靱な地域づくり

現状と課題

- 本市は豊かな自然に囲まれている反面、様々な災害が起こる可能性があることから、災害に強く、被災しても回復の早い、強靱な地域づくりが求められます。
- 市民の安全で快適な生活環境を保護するため、安全な地域社会を支える都市骨格の形成や戦略的なインフラマネジメントなど、様々な災害を想定した事前対策が重要です。
- 我が国で起きている様々な自然災害等における課題を検証し、得られた知見を反映した防災・減災・復旧対策を推進する必要があります。

方向性

動き出す 創り出す

- 戦略的なインフラマネジメントなどによる強靱なまちづくりに取り組みます。

誇りと つながり

- 安全な地域社会を支える都市骨格の形成に努めます。

心も体も 元気で健康

- 公共施設等の耐震化を推進します。
- 直近の自然災害等からの知見を反映した災害対策を進めます。

関連する
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
<p>1 安全な地域社会を支える都市骨格の形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 国・県などの関係機関と連携し、緊急輸送路となる幹線道路等の整備や維持管理を進め、被災地域への道路ネットワークを確保します。 ▶ 道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、主要道路の無電柱化を図ります。 ▶ 狭あい道路の拡幅などを図ることで、避難通路や緊急車両の通行路の確保を図ります。
<p>2 戦略的なインフラマネジメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 橋梁の耐震補強工事等を実施し、災害に強い道路ネットワークを整備します。 ▶ 水道・下水道施設の安全性を確保するため、老朽化した施設について、緊急度と重要度から優先順位を定め、計画的に更新を進めます。
<p>3 公共施設等の耐震化の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 沼津市耐震改修促進計画に基づき、公共施設の耐震化や既存木造住宅の耐震改修を推進します。 ▶ 危険なブロック塀等の撤去・改善の啓発促進や補助制度の拡充について検討します。 ▶ 沼津市下水道総合地震対策計画に基づき、緊急輸送路や避難路を中心に下水道管など下水道施設の耐震化を推進します。 ▶ 非常時における水の貯留施設となる配水池の耐震化を重点的に実施するとともに、基幹管路及び災害時給水拠点までの主要管路を中心とした水道管の耐震化を実施します。
<p>4 防災・減災・復旧対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自然災害等から得られる知見を調査・研究し、防災・減災・復旧対策への反映に努めます。 ▶ 専門家によるセミナー等を開催し、企業におけるBCPの作成を促進します。 ▶ BCPに基づいた耐震化などの設備投資に対する新たな支援制度を検討します。 ▶ 被災者の日常生活の早期回復に向けて、生活の復興に向けた相談体制の整備、災害時応援協定の締結など連携体制の強化、緊急物資の備蓄品の充実などを推進します。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市国土強靱化地域計画
- 沼津市耐震改修促進計画
- 沼津市下水道総合地震対策計画

自主防災力の向上

現状と課題

- 災害時には、自らの命は自らで守れるように、防災教育を徹底し、防災意識の向上を図ることが求められます。
- 大規模災害発生時には、地域の住民による防災活動が重要となることから、自主防災組織・消防団の充実や地域における実践的な防災訓練の実施など、地域による防災力の強化が必要です。
- 多くの被災者が避難する避難所についても、地域や関係機関と協力しながら、感染症対策など多様な視点を考慮し、運営や必要資機材などを検討していく必要があります。

方向性

動き出す 創り出す

- 地域住民の災害への対応力強化や自主防災組織・消防団の充実などに努めます。

誇りと つながり

- 多様な視点に配慮した避難所運営の充実に努めます。

心も体も 元気で健康

- 災害時に適切な避難行動がとれるよう、防災教育の推進や防災意識の向上を図ります。

関連する
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
<p>1 地域住民の災害対応力の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自主防災会の充実、強化を図るため、防災指導員等への研修内容を充実させるとともに、運営や資機材等の整備を支援します。 ▶ 消防団として必要な訓練や研修等を実施し、団員の知識や技術力の向上を図るとともに、駿東伊豆消防本部との合同訓練等の実施により、災害現場における常備消防との連携強化を図ります。 ▶ 消防団員の確保、団の再編、詰所の老朽化などの消防団が抱える諸問題の解決に向けて、総合的に取り組みます。
<p>2 防災教育の推進、防災意識の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市民一人ひとりが様々な災害から身を守るため、幼少期からの防災教育を推進します。 ▶ 防災意識の持続を図るため、防災講座等を開催するとともに、「地震防災強化月間」、「防災とボランティア週間」等において、啓発活動を充実させます。
<p>3 避難所運営の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域住民等が主体となって取り組む各地域の避難所運営について、女性や高齢者など多様性への配慮や、感染症拡大防止対策など、専門的知見の情報等を共有し、地域におけるマニュアル作成を支援します。 ▶ 避難所で必要となる資機材などの充実を図るとともに、地域特性に応じた避難所運営訓練を実施します。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市地域防災計画
- 沼津市地震・津波対策アクションプラン



市民の安全・安心の確保

現状と課題

- 社会経済の変化などに伴い犯罪が複雑多様化しているなか、本市の刑法犯認知件数は、県内の他市町と比較しても多い状況にあります。
- 本市では、地域の自主防犯機能の向上に向け、防犯活動の支援に取り組んでいますが、今後更に地域、警察、行政などが連携して、誰もが安心して暮らすことができる安全・安心なまちを目指していくことが求められます。
- 近年では、新たな感染症や環境の変化などに伴う市民の生命や生活を脅かす危機事象の発生が懸念されており、危機管理体制の充実を図ることが重要です。

方向性

動き出す 創り出す

- 感染症などこれまで想定できなかった市民生活を脅かす危機事象に対して早期の対応を図り、安全・安心な市民生活の確保に努めます。

誇りと つながり

- 地域、警察、行政などが連携して、地域の防犯活動を推進します。

心も体も 元気で健康

- 複雑多様化する消費生活におけるトラブル等の防止対策を推進します。



関連する
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
<p>1 地域の防犯活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 関係機関との連携を図り、市・市民・事業者が協働し、市全体で防犯まちづくり活動の充実を図ります。 ▶ 市民や事業者が自主的に取り組む地域の防犯活動や地域防犯関連設備への支援を行います。 ▶ 防犯教室の開催、SNSの活用による情報共有、ICTを活用した防犯対策の検討などにより、市民自ら身近な犯罪を認識し、防犯意識の向上を図ります。
<p>2 消費生活におけるトラブル防止対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 街頭キャンペーンや消費生活展などを通じ、消費者トラブル防止の啓発活動を実施します。 ▶ 自立した消費者の育成を目指して、年代や社会状況に応じた出前講座やくらしのセミナーなどの教育機会を充実させます。 ▶ 消費者団体の自主的な活動を支援します。 ▶ 消費者からの相談に適切に対応するため、消費生活センターの体制整備とともに、他団体や警察との情報共有など連携を強化します。
<p>3 感染症など新たな危機事象への対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 感染症や外来危険生物など、新たな危機事象について、迅速かつ正確な情報収集に努め、危機管理体制の速やかな確立を図ります。 ▶ 危機事象について、市民への迅速かつ適切な情報提供に努めるとともに、関係機関と連携して機動的な対応を図ります。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市消費者教育推進計画
- 沼津市新型インフルエンザ等対策行動計画
- 沼津市国民保護計画



安全で快適な 交通社会

現状と課題

- 本市における交通事故の発生件数・死傷者は減少傾向にあるものの、歩行者や自転車利用者の安全に配慮した道路の整備・管理、交通マナーや交通安全意識の向上に更に取り組み、安全で快適な交通社会の構築に努めることが必要です。
- 本市における高齢者関連の事故状況については、県と比較すると10万人当たりの発生状況が高くなっているため、高齢運転者による交通事故防止対策を進める必要があります。
- 誰もが利用しやすい公共交通の実現に向け、利用環境の整備を進めることが求められます。



方向性

動き出す 創り出す

- 歩行者や自転車利用者の安全に配慮した道路の整備・管理に努めます。
- 誰もが利用しやすい公共交通の実現に向け、利用環境の整備を進めます。

誇りと つながり

- 関係機関と連携し、交通マナーや交通安全意識の向上に努めます。

心も体も 元気で健康

- 高齢者の交通事故防止対策として、運転技能の確保や運転免許証返納後の支援などを推進します。

関連する
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
<p>1 歩行者の安全に配慮した道路の整備・管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 狭あい道路の拡幅など、地域の状況に応じた生活道路の改良等を進めるとともに、幹線道路等との円滑な連携を図ります。 ▶ 誰もが安心して通行できるよう、道路の劣化状況などに応じた適正な生活道路の維持修繕や交通安全施設の整備等に努めます。 ▶ ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、高齢者や障害のある人など、誰にとっても優しい歩行空間の整備に努めます。 ▶ 無電柱化を推進し、道路の防災性の向上、安全で円滑な交通確保、良好な景観の形成や観光振興を図ります。
<p>2 自転車利用環境の整備等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 誰もが安全・安心、快適に自転車を利用できるよう、交通量や道路の幅員などの交通状況等を考慮した自転車通行空間の整備を推進します。 ▶ 自転車を活用したサイクルツーリズムや健康づくりなど、誰もが自転車を楽しむことができる環境を創出します。 ▶ 自転車の点検整備や駐輪、通行ルールなどの周知と遵守を図り、各世代の自転車の安全利用を促進します。
<p>3 交通安全意識の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 交通安全教育や交通安全運動の継続、充実などにより、交通マナーと交通安全意識の向上に努めます。 ▶ 年代別や地域ごとの事故発生状況に合わせた交通安全対策を実施します。
<p>4 高齢運転者による交通事故の防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 関係機関と連携して高齢者向けの運転講習や講演会、体験型出前講座を実施するなど、高齢者に対する交通安全教育を推進します。 ▶ 運転免許証を自主返納した高齢者に対し、安全な公共交通の利用促進に向けた支援等を充実させます。
<p>5 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 都市的居住圏の路線の見直しやサービス水準の向上を図るなど、日常的に利用しやすい公共交通軸の形成に努めます。 ▶ 関係機関と連携して、地域ごとの特性に合わせ、利用者ニーズに応じたきめ細やかな移手段の確保に努めます。 ▶ 沼津駅バスターミナルを行き先方面別に再編するとともに、バス停の案内表示を統一したデザインにするなど、わかりやすく使いやすい利用環境の整備を図ります。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市交通安全計画
- 沼津市地域公共交通計画
- 沼津市自転車ネットワーク計画
- 沼津市自転車活用推進計画

